

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月29日	記入者		連絡先	3172
平成18年度部名	環境保全部	課名	みどり対策課	課長名	隅河内 司
平成19年度部名	環境保全部	課名	水みどり環境課	課長名	隅河内 司
事務事業名	森づくりパートナーシップ推進事業				
予算上の事務事業名	森づくりパートナーシップ推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			22330	
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政策名	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます				
基本施策名	第3節 みどりの保全と創造				
施策名	第3施策 緑化活動の支援				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	相模原市森づくりパートナーシップ事業実施要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修	▼	5 事業開始年度	平成18年度	▼
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何) 市民が主体となって行う樹林地の管理・保全活動(樹林管理、植生調査、環境学習を全て実施)について、市民と市の相互の役割や市が行う支援等のルールを協議し協定として定め、市民と行政とのパートナーシップにより、市内に残された良好な自然環境を将来にわたって保全・継承する。 ・市民活動団体 ・市管理緑地の中で市が総合的な管理方針を定めている緑地				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。	森づくりパートナーシップ事業実施要綱に基づき、協定締結申請があった4団体とパートナーシップ協定を締結し、市民との協働による樹林管理を実施した。 ・古淵1丁目市民緑地：18年5月15日締結(境川の斜面緑地を守る会) ・木もれびの森：18年6月10日締結(森林ボランティア相模原こもれび) ・東林ふれあいの森：18年6月10日締結(東林ふれあいの森を愛する会) ・相模原中央緑地：18年7月10日締結(大野台みどりを守る会)				
7 関連事業・類似事業又は他市の状況	(他市の状況)横浜市、日野市で類似事業を実施				
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	728	900	900
一般財源	0	0	728	900	900
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	1,315	1,315	1,315
事業コスト合計	0	0	2,043	2,215	2,215
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	森づくりパートナーシップ推進事業			対象名称 と単位	協定締結団体数(団体)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	728	900	900
対象数	0	0	4	4	4
単位あたり経費(円)			182,000	225,000	225,000
前年度比				1.24	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	協定締結率（％）	指標式と指標の説明	（協定締結団体数）÷（樹林管理を委ねられる自立した市民活動団体数）×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	4.0		
目標	0.0	0.0	4.0	4.0	5.0
目標達成度（％）			100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	森づくりパートナーシップ導入緑地率（％）	指標式と指標の説明	（制度導入緑地数）÷（維持管理方針を有する緑地）×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	4.0		
目標	0.0	0.0	4.0	4.0	5.0
目標達成度（％）			100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業			
	[] : 概ね良好な状況である事業			
	[] : 見直しを行う必要がある事業			
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		市管理緑地において、樹林管理のほか、植生調査や環境学習を市民協働で行うことにより地域のコミュニティづくりに寄与する事業となっている。また、市民団体にとっては、組織力や責任体制の向上などにより自立した団体への成長に寄与する事業となっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
現在でも、児童生徒を対象にした環境学習や自治会との協働による散策路づくりなど、地域を巻き込んだ取り組みが行われているが、今後より多くの地域住民を巻き込むため、市民団体の自主的な社会貢献活動への支援はもとより、ワークショップの開催などきっかけづくりも必要である。			資金を含めた運営体制や責任体制の確立、組織力の向上など、市民団体が明確な目的と意思を持って自立することが必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			